

もうすぐ中間考査～試験勉強に図書館を使おう

新年度が始まって一ヶ月以上が経ちました。今年もコロナの影響で始業時間が遅くなったり、校外学習が中止になったり、残念なことが続いていますね。そんな中、中間考査が24日（月）（3年生は21日（金））から始まります。しっかり勉強して確かなスタートダッシュをきってください。図書館は読書場としてだけでなく、学習場としての利用もできます。普段は17：00までの開館ですが、試験前と試験中は開館時間を変更します。



5月20日（木）21日（金） 8：35～17：30

5月24日（月）～26日（水） 8：35～13：00

（13：00以降の自習室としての利用は相談に応じます）

家庭では勉強に集中できない生徒さんは図書館で勉強してください。息抜きの図書、雑誌も用意してお待ちしています。

1年生がよく利用しています。～4月の貸出状況

4月の貸出状況をまとめてみました。1年生が人数面でも冊数面でもよく利用しています。昼休み放課後も多くの1年生が来館しています。2年生、3年生ももっと利用してください。次に4月によく貸し出しされた小説とマンガを紹介します。

<よく貸出された小説>

『高校入試』湊かなえ著

県下有数の進学校の入試当日。試験内容がネット掲示板に次々と実況中継されていく。いったい誰が・・・？ 学校側は保護者は受験生は何を考えどう対応していくのか。『告白』以来の学園ミステリーの傑作。

学年	貸出冊数	利用人数
1年	38冊	11人
2年	6冊	4人
3年	37冊	5人
合計	81冊	20人

<よく貸出されたマンガ>

『呪術廻戦 15』芥見下々著

『鬼滅の刃』の次にヒットするのではとされている異能戦士の物語。封印が解かれ人を襲う化物・呪霊が現れた高校で生徒の虎杖悠仁は先輩を救うため呪物「宿儺の指」を食べ、呪物・両面宿儺を復活させてしまうと同時に特殊能力をみにつけ、呪術師として呪霊との戦いの人生をスタートさせる…。既刊 15 巻まで。6 月には 16 巻も発売。

リクエスト受け付けてます

今年も生徒のみなさんからのリクエストを受け付けて魅力ある図書館にしていきたいと思っています。生徒リクエストで入った図書を 1 冊紹介します。



『メイジアン・カンパニー』佐島勤著

「メイジアン・カンパニー」は、魔法適性（超能力）はあるが実用レベルに至らない存在、メイジアンの人権保護の実現を目的とする法人。その専務理事に就任した司波達也こそ国立魔法大学付属第一高校で活躍した人物。『魔法科高校の劣等生』の続編。魔法師（超能力者）の結社「FEHR」から、上級魔法師である達也の動向を探るべく刺客が送り込まれ…。

その他にもいろいろな図書のリクエストがありました。
発注中のものも含めて一部紹介します。

『君の話』三秋縋著

『ビブリア古書堂の事件手帖Ⅱ ～扉子と空白の時～』三上延著

『高校事変』松岡圭祐著

『ビブリア～Ⅱ』はリクエスト者名が空欄でした。入荷の連絡が必要な場合は申し出て下さい。

今年度の図書館イベントの予定

- 6 月 前期読書週間（古雑誌リユース、しおりコンテストなど）
- 7 月 七夕飾り
- 10 月 ハロウィーン飾り
- 11 月 後期読書週間（雑誌付録プレゼント、古本交換会など）
- 12 月 クリスマス飾り
- 1 月 ポスター争奪じゃんけん大会
- 2 月 百人一首ぬりえコンクール

